

# 週刊 タバコの正体

皆さん、タバコの値段を知っていますか。20本入り一箱が430円～460円もします。でも一本あたりになると20円ちょっとなので、一本や二本を吸ったところで何の負担も感じないでしょう。

ところが、ところが、興味本位で一本か二本を吸ってしまくと、数日のうちにその一箱はなくなってしまいます。すると、次の一箱を買わずにいられません。460円を出して買った今度の一箱はもっと早い期間でなくなってしまいます。こうなると、一日か二日おきに460円が必要になってしまいます。仮に、二日に一度460円を出してタバコを買うと一ヶ月で7000円も必要です。つまり、毎月7000円が煙となって消えてしまうのです。

今、タバコに全く興味がない人にとっては、毎月7000円も出して毒のかたまりの煙を吸い込むなんて、本当に馬鹿げているとしか思えないのですが、一旦タバコを吸い始めてしまった人にとっては、そんな冷静な判断ができなくなってしまうのです。たとえ、タバコ一箱が1000円になっても、買い続けることになるかもしれません。こんな状態になっている人は「ニコチン依存症」と呼ばれ、毎日毎日、来る日も来る日も、タバコを吸わずに生活できないのです。

もしも、今「ニコチン依存症」になっていたとすると、この先何十年タバコを買い続けなければならないのでしょうか。そうすると、その総額はいくらになるのでしょうか。このままタバコの値段が上がりなかつたとしても70歳ぐらいまで50年間買い続けると、 $7000円 \times 12カ月 \times 50年 = 420万円$ です。

420万円もつぎ込んで、一体何をやる事ができるのでしょうか。……何も得るものはありません。それどころか自分の身体が犠牲となるだけです。

だから、今タバコを吸い始めていないことに自信を持ってください。一本たった20円のタバコに目をくれなかった君の行動は大正解なのです。そして、この先の人生においてもタバコに手を出すべきではありません。「ニコチン依存症」になっていない君には、わかってもらえるはずですよ。

毒がいっぱいのタバコにお金を出すなんて。  
それを吸うために隠れなければならないなんて。

いったい、何のために……

産業デザイン科 奥田 恭久